

キダチアロエの有効成分

八木 晟

日本医事新報 第3378号, 141-142 (1989).

Active principles of *Aloe arborescens* var. *natalensis*

Akira YAGI

抄録 キダチアロエの有効成分に関する綜説である。キダチアロエ（アメリカではアロエベラ、アロエサボナリア）は広く民間薬として用いられている。①刺傷・咬傷への作用物質：起炎物質の一つブラディキニンを分解する糖蛋白の単離と構造解析，②胃腸傷害への作用物質：バルバロインを単離し腸管蠕動促進効果をみた。③抗チロジナーゼ作用物質：アロエシン類を単離し抗チロジナーゼ効果を証明した。④抗腫瘍性物質：ザルコーマ 180 に対し有効な多糖体アロエマンナンの単離と構造解析，⑤細胞増殖作用物質：センイ芽細胞の増殖能亢進物質の一つアロエレクトンを単離した。⑥感染防御能を示す物質：多糖体と糖蛋白を単離し，それらの構造解析を行った。